

前腕不全切断後に回内制動を要した症例に対するミュンスター型装具および着脱式アウトリガー装具の臨床経過に関する症例報告

1. 研究の対象

2022年6月から2023年12月までの期間に、南和歌山医療センターにて交通外傷等により前腕不全切断を含む重度前腕外傷を受傷し、回内動作の制動と手指の運動機能の維持・改善を目的とした装具療法を実施した患者。

2. 研究目的・方法

前腕不全切断後に回内動作の制動を要した患者さんについて、診療録に記載された既存の情報を用いて、回内制動を目的としたミュンスター型装具および手指伸展補助を目的とした着脱式アウトリガー装具の設計内容と臨床経過を後向きに整理し、今後の前腕外傷後における装具療法および後療法の検討に資することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、受傷機転、外固定内容および期間、装具設計の内容（ミュンスター型装具および着脱式アウトリガー装具）、装具使用後の経過（前腕回旋可動域、手関節および手指の関節可動域、皮膚トラブルの有無、装着状況等）、診療上必要に応じて撮影された前腕および手関節の単純X線画像（新たな撮影は行いません）。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒646-8558

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者：所属 リハビリテーション科

氏名 藤澤 秀生

電話：0739-26-7050